編集・企画・取材
編集倶楽部310
TEL 613-7121　FAX 613-5124
紙面広告掲載募集中!!
街の話題お寄せ下さい

まちコミュ310

発行
DoshinSato
北海道新聞佐藤販売所
063-0845 札幌市西区八軒5条西1丁目1-4
TEL0120-615-701 FAX0120-015-804
ホームページ http://www.doshin-sato.jp/
平成22年4月創刊 月1回第4週水曜日発行

幻想的な明かりで地域照らす

八軒地区「アイスキャンドル冬物語」

琴似栄町通などをロウソクの明かりで灯す「アイスキャンドル冬物語」が1月下旬、西区内の5地区で行われました。

各地区の連合町内会や商店街などが実施するもので、区内全体で1800基ほどのアイスキャンドルが飾られました。

八軒地区でも八軒会館前庭を会場に1月27日と28日に行われました。主催は八軒連合町内会などで組織した実行委員会です。

アイスキャンドルを置く雪のステージは、1週間前に八軒連合町内会の青少年部や八軒地区青少年育成委員会から約15人が参加して作りました。

初日には250基のアイスキャンドルと、八軒小学校虹色学級の児童が作ったカラフルなスノーキャンドルが並べられました。

また会場には八軒東中学校美術部が描いた2枚の看板が設置され、周囲にはイルミネーションが光っていました。

午後4時半からは点灯式が行われ、子どもを含めた約30人が参加。実行委員長の土肥弘さんがあいさつした後、子ども達も大人に助けてもらいながらロウソクに点火していきました。

参加者は振る舞われた豚汁を味わいながらロウソクの幻想的な明かりに見入っていました。

上が点灯式、下が「教室」の様子

2日目には「スノーキャンドル作り方教室」を開催

八軒地区「アイスキャンドル冬物語」の2日目となる1月28日には、八軒地区青少年育成委員会による「スノーキャンドル作り方教室」が開かれました。

スノーキャンドルは少量の水をはったバケツに雪を3分の1ほど入れ、ロウソクを立てる空洞を作るために一升瓶を中央に置き、さらに雪を詰めて作っていきます。水をかけてから一升瓶を引き抜き、バケツを逆さまにして固まった雪を出して完成です。

会場の八軒会館前庭には子どもと保護者合わせて約40人が集まりました。子ども達はスタッフの実演を見た後で作り始め、完成したスノーキャンドルは会場に次々と飾っていきました。

小学3年生の女の子は「瓶を抜く時に力を使います」と言いながら一生懸命作っていました。

作成後は焼きイモと焼きマシュマロが参加者に振るまわれ、参加者はおいしそうに頬張って冷えた体を温めていました。

劇見て特殊詐欺の予防法を学ぶ

参加者同士が親睦「あったか交流会」

今年度3回目となる「あったか交流会」が1月26日、八軒会館で開かれ約30人が参加しました。主催は八軒まちづくりセンターです。

この交流会は八軒連合町内会エリアに住んでいる人を対象に、11月から毎月1回開かれています。多くの人が同じ場所に集まることで、各家庭でのエネルギー消費を抑制する「ウォームシェア」事業の一環です。

今回はNPO法人コンカリーニョの協力を得て、特殊詐欺をテーマにした劇を鑑賞しました。参加者は劇を楽しみながら、様々な詐欺の手口を学んでいました。劇終了後もお喋りなどで交流し、お昼にはみんなでカレーライスをおいしく食べました。

「あったか交流会」は3月まで、第4木曜の午前10時～午後1時半に開かれます。場所は全て八軒会館（八軒1西1－7－1）です。

参加費1回200円で、次回開催は2月23日㈭。健康維持や福祉に関する情報を聞いたり、温かい麻婆豆腐を食べて交流する予定です。

熱心に劇に見入りました

「こども・あーと・にしく」ペンギンの雪像作ったよ

「こども・あーと・にしく～雪像彫刻でペンギン村を作ろう」が1月14日、中央区にある本郷新記念札幌彫刻美術館で開かれました。西区内の小学生15人が参加し、ペンギンの雪像作りに挑戦しました。主催は西区役所です。

この日講師を務めたのは木工家の清水宏冗さん、彫刻家の野村裕之さん、造形作家の児玉陽美さんの3人です。

子ども達はまず、同美術館内でペンギンのイラストを作成。写真などを参考に絵を描いた後、外に移動して雪像作りを始めました。

子ども達は雪の塊をスタッフに切り出してもらい、ペンギンの絵を雪に描いてから削り始めました。参加者はスコップやヘラで雪を削り、懸命に手を動かしてペンギンを完成させていました。小学4年生の女の子は「バランス良く削るのが難しいです」と言いながら熱心に作っていました。

子ども達の作った雪像は1月20日～22日、同美術館前庭で開かれた「さっぽろ雪像彫刻展」で展示されていました。

寿司・天ぷら・宴会料理
ふじ寿司
お祝い・法事料理も承ります
ランチタイム　11:00～14:00
会合、女子会など小上りもご利用下さい
札幌市西区八軒5条西2丁目4-16（下手稲通沿い）
0120-272-234

週刊釣り新聞 ほっかいどう
毎週木曜日発売
定価288円(税込)
道新販売所および主なコンビニ、キヨスク、釣具店にて販売

外構工事ならサンキへ!
お困りでは？
八軒のお客様限定 特別特典付!
・車庫などの出入口が狭い、段差があるから入りづらい。
・ロードヒーティングにしたい。
・塀・門扉を作りたい、作りなおしたい。
・屋根や壁の塗装を塗り替えたい。
当社は、八軒のボランティアにも積極的に参加しています。
事業拡大の為、土木作業員さん大募集!!
三喜工業株式会社
TEL 011-676-4602
〒063-0865 西区八軒五条東2丁目7-20

高齢者・障がいの方も入居可
空室 入居者募集
¥65,000～ 3食365日諸費用込み
○鉄筋4階建て ○生活保護の方OK。
○場所～西区八軒、厚別区厚別南
○敷金・保証人不要。引越準備・費用等不安の方も気軽に相談下さい。
29年3月末まで入居費は全額無料!!
問合せ 378-6755

善意の力でキレイに

異業種団体「八進会」が排雪ボランティア行う

他地区への活動拡大に期待

「八進会」の排雪ボランティアが1月28日と2月4日に行われ、八軒と八軒東地区の約40カ所をキレイにしました。

「八進会」は異業種交流団体で、花植えなどボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

排雪ボランティアは今年で5回目。地域に役立つことをしようと関連団体に相談したところ、排雪を望む声が多かったことが始めるきっかけでした。作業場所の選定には西区社会福祉協議会が協力しています。

4日には16人が参加して、17カ所の排雪をしました。参加者は八軒地区の三喜工業株式会社に集合後、打ち合わせをして2グループに分かれて作業を始めました。

参加者は家の周囲や車庫の前に積み重なった雪をスコップで崩し、重機を使ってトラックに雪を移していきました。

作業が終ってキレイになった自宅の前を見た居住者は、「八進会」の人達にとても感謝していました。

「八進会」の会員で三喜工業株式会社の代表取締役である菊池英喜さんは、「この排雪ボランティアを他の地区でも実施してもらえれば」と活動の広がりを期待していました。

積もった雪を崩していく参加者

手際良く作業しました

お汁粉おいしいね

「餅つきと昔あそびの会」

「餅つきと昔あそびの会」が1月28日、はちけん地区センターで開かれ友達同士で訪れた小学生や親子連れなどでにぎわいました。主催は同地区センターと、八軒中央地区福祉のまち推進センターです。

当日はまず午前10時から昔遊びがスタート。会場には折り紙、けん玉、コマ、福笑い、めんこなどのおもちゃが用意されており、子ども達は親やスタッフにコツを教わりながら笑顔で楽しんでいました。

午前11時からはもちつきが始まりました。用意されたもち米は8臼分20キロです。はじめの2臼分は大人がつき、お汁粉100食分になって来場者に振るまわれました。

その後は1臼につき子ども20人ずつがもちつきを体験しました。子ども達は周囲の掛け声に合わせて、力いっぱい杵を振り下ろしていました。

このもちも、つきあがるたびにお汁粉として提供され、参加者はおいしそうに味わっていました。

多くの人が楽しく過ごしました

ドーレくんが1日署長

「110番の日」に子どもが啓発活動

「110番の日」に合わせた1日警察署長委嘱式が1月6日、イオンモール札幌発寒1階で行われました。主催は札幌方面西警察署です。

警察庁では1月10日を、110番の正しい利用を呼びかける「110番の日」としています。

当日は北海道コンサドーレ札幌のキャラクター「ドーレくん」と、西区を中心に活動している札幌雄心館の伊豆颯翔さん、大森果音さんが1日警察署長に委嘱されました。また札幌雄心館の子ども達5人には1日警察官の委嘱状が手渡されました＝写真左上＝。

あいさつした佐藤豊実署長は昨年の110番受理件数などについて話をし、また警察相談専用電話「#9110」を紹介していました。

委嘱式後は啓発活動が行われ、北海道警察のマスコット「ほくとくん」と、西区環境キャラクター「さんかくやまベェ」も合流。参加者はいくつかのグループに分かれ、買い物客にポケットティッシュなどの啓発品を手渡していました。

地域の情報をお寄せください

道新八軒販売所ミニコミ紙「まちコミュ310」（毎月第4週水曜発行）では、読者の皆さまからの投稿や情報提供をお待ちしています。

詳細、申し込みは☎613・7121、FAX613・5124、Eメール hensyu310@joom.home.ne.jp

編集倶楽部310「まちコミュ310」係まで。

求む！情報!!

法律アドバイス

遺言に関する体験談

～行方不明の者がいる場合～

2年ほど前に同じような内容の相談を続けて受けたことがあります。その内容の概要は、夫が亡くなって妻から相続についてのものでした。

相続人は、妻と長女・長男の3人ですが、長男はかなり以前に家出をしたまま長期にわたり所在不明であり、住民票を取ってもらったところ2～3年に1度位で移動していますが、実際には住んだ形跡がありません。

そのため家族が住んでいた父名義の土地と建物について、遺産分割の協議を行うことが出来ず妻又は長女への相続による移転登記が不可能でした。

このように所在不明の者がいる場合には、自宅の土地及び建物などを長女（又は妻）に相続させる旨の遺言書が作成されていましたら、遺言に基づき手続き出来るものでした。

中川輝之 司法書士事務所
☎622－5017

家賃の不払いなどでお困りの大家さん
簡裁の訴訟などにより建物からの立退き要求のお手伝いを致します。
まずはご相談ください。
相談無料
簡裁訴訟代理認定 司法書士 中川輝之
西区八軒4条東1丁目2-30　クリーンリバー琴似103号室
☎011－622－5017

道新スポーツ
北海道日本ハムファイターズ・コンサドーレ札幌情報満載!!
月ぎめ購読料 3,040円
ご購読のお申込みは最寄の道新販売所まで

道新販売所のスタッフが見守ります！
道新あんしんサポート
登録無料
ポストに新聞がたまっている状態を、お客様の緊急連絡先にご報告するサービスです。
近いけれど、なかなか会えなくて心配…
そんな方々を、道新販売所のスタッフがしっかりと見守ります！
郵便物は毎日届くとは限りませんが、新聞は毎日ご家庭のポストにお届けしています。
私たちは、この新聞配達業務を活かして、そのご家庭の見守りをサポートさせていただきます。
あくまで、道新を購読されている方を見守る無料コールサービスであり、救命と義務とするものではありません
札幌市との「見守り事業」にも協力しています
このステッカーが目印です！
まちのおんみまもり隊